

船舶事故等調査報告書

平成23年9月29日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011門第76号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成23年1月15日 05時15分ごろ	
発生場所	大分県中津市中津港 中津港北防波堤灯台から真方位207°700m付近 (概位 北緯33°36.5′ 東経131°14.9′)	
事故等調査の経過	平成23年6月6日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船船番号、船舶所有者等</p> <p>A 押船 第二北州丸<sup>ほくしゅう</sup>、100トン 132733、北州産業株式会社</p> <p>B バージ北州<sup>ほくしゅう</sup>、約1,187トン なし、北州産業株式会社</p>	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	A 両舷プロペラ曲損 B 左舷船底部外板擦過傷	
事故等の経過	A船は、船長ほか4人が乗り組み、B船を押して中津港の公共岸壁に着岸作業中、平成23年1月15日05時15分ごろ、公共岸壁近くでA船及びB船の船底部に衝撃を受けた。 A船及びB船は、浸水等の異常がなかったので航海を続けた。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 3 海象：潮汐 上げ潮の末期	
その他の事項	A船の喫水は、船首約2.6m、船尾約4.5mであり、B船の喫水は、船首約4.8m、船尾約5.1mであった。 船長は、毎月約2～3回の頻度で中津港に入港していた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし A船は、B船を押して中津港の公共岸壁に着岸作業中、同岸壁付近の浅所に接近したことから、同浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、A船が、B船を押して中津港の公共岸壁に着岸作業中、同岸壁付近の浅所に接近したため、同浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	